

夕張市産業振興課

一般社団法人ぱれっとふぁーむ

農林係長

武田 信仁

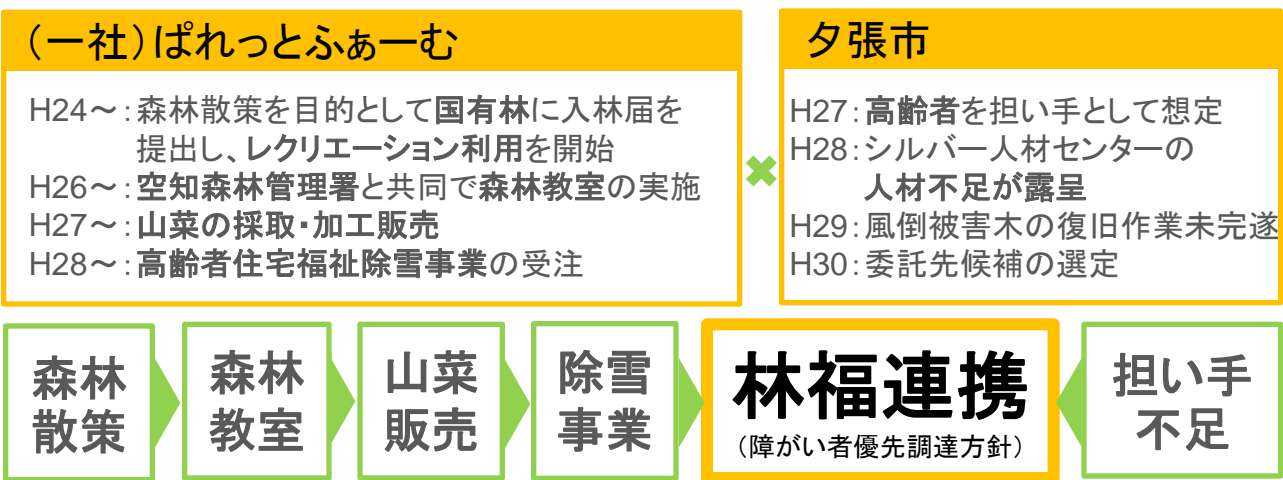
代表理事

長谷地 孝一

## 取組の背景・目的

- 夕張市では、漢方薬の原料としての利用が見込まれる薬木(キハダ、ホオノキ)を夕張メロンに次ぐ地域産業資源として位置づけ、市有林に薬木を植栽する事業を平成27年から開始し、日本一の薬木生産地を目指しています。
- 薬木植栽事業は、新たな「価値」を創造し、これまでにない雇用機会等の創出を目的としています。
- 当初、薬木育成の担い手としてシルバー人材センター等の高齢者を想定していましたが、平成29年に高齢化率が5割を超えた本市では、超高齢化によりシルバー人材の担い手が不足するという事態に直面しています。
- 超高齢化社会に突入しているなか、市民の12.7%が何らかの障害を有しており、これは全国平均の約2倍という状況となります。
- 障がい者の就労支援を行う市内の福祉事業所は、新たな職域開拓を進めており、薬木植栽地を障がい者の就労訓練、就労の場として活用する福祉と林業の連携は相互にメリットがあり、地域再生にも寄与するものと考えています。

## 薬木植栽事業と障がい者福祉サービス事業所のマッチング



## 今年度の取組

林業支援講習の受講(ぱれ)	ドローン操作講習(市)	気象害復旧(市・緑越)

## 今後の展開

障がいのある方をサービスを受ける存在ではなく、サービスを提供する存在として捉え、一人一人の個性を生かすために必要な支援や配慮を行い、多様な個性が各々の役割を果たすことにより薬木植栽事業の担い手として活躍できるよう順応的な取組を継続していきます。